

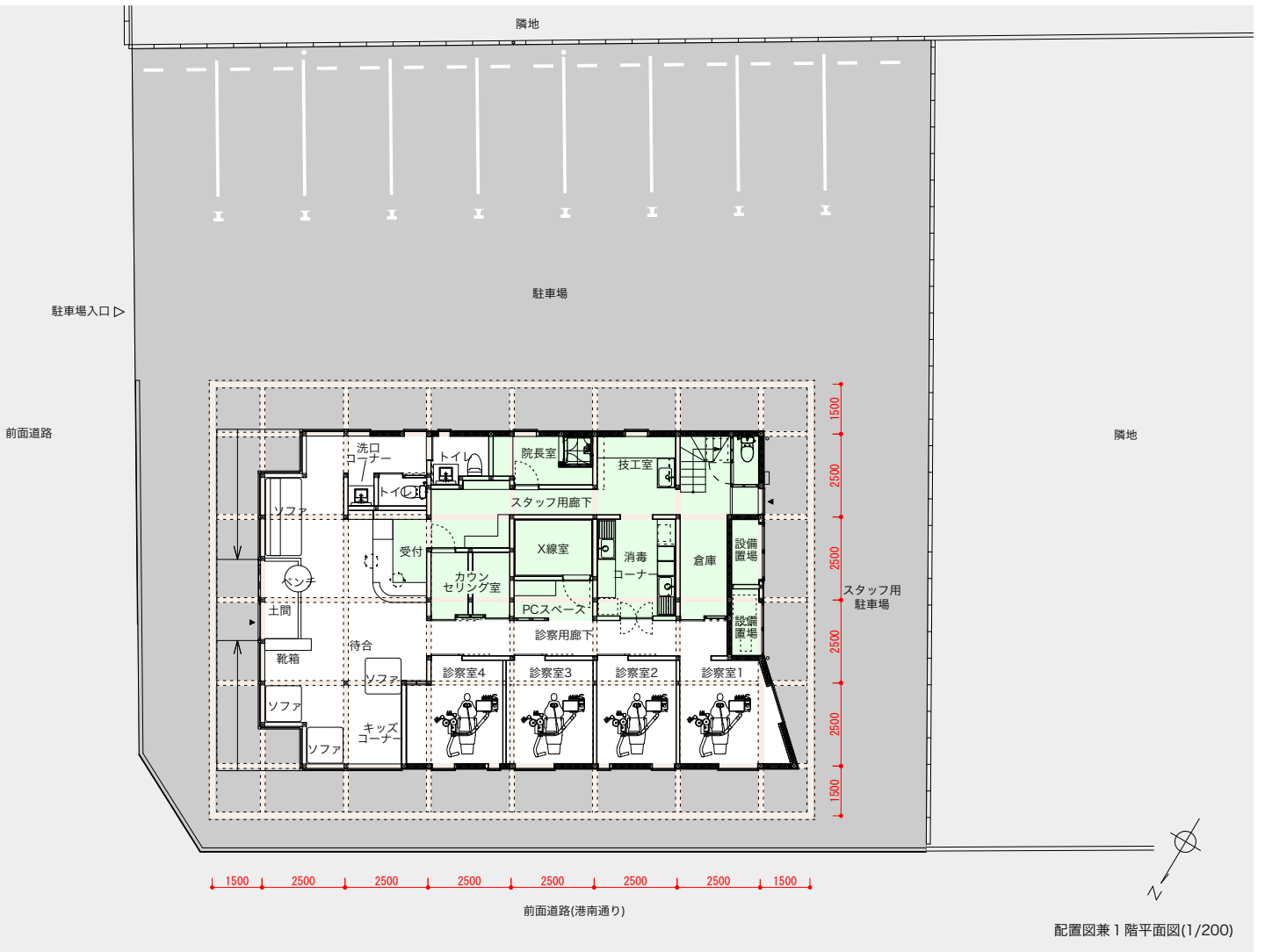


〈東部歯科診療所〉 Toubu Dental Clinic

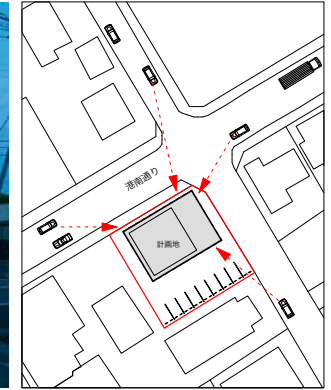
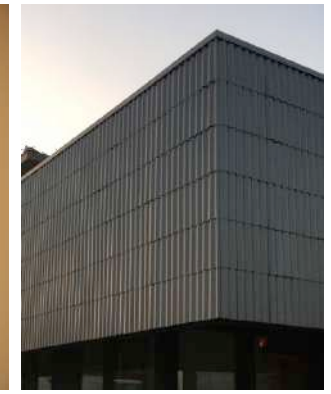
所在地：茨城県神栖市
 用途：歯科医院
 構造：木造2階建て

敷地面積：579.49㎡
 建築面積：194.46㎡
 延床面積：181.82㎡

設計期間：2016.11～2017.06
 工事期間：2017.06～2018.01
 写真：大平頼果



配置図兼1階平面図(1/200)



■配置計画

計画地は、工業地帯に近接する地域で歩行者は少なく、地域の住民が車で往来している大通りに面した角地である。車社会となっているこの地域では、大通り沿いの店舗では駐車場が道路沿いに並び、大きな看板が乱立している様相となっている。敷地の奥に建物を寄せてしまえば、視認性が低くウラオモテのある窮屈な建物に見えてしまう。そこで、港南通りに寄せて建物を配置し裏側に駐車場を設ける計画とした。

■四周を正面とする外観

交差点側に建物を寄せることで、交差点を含む道路の四方から建物が見える配置となった。建物の四周を出幅1500mmのキャンチレバーの庇でぐるりとまわし、内部を外に伝える大開口の窓に対し、日射を遮る機能を持たせた。庇と建物のプロポーションは、地面～庇下端と庇自体の高さを1:1とする事で、庇が看板として機能するほかに敷地のどの方向からでも人を呼び込むような軒下空間を計画した。

■効率的な平面と広がりのある断面

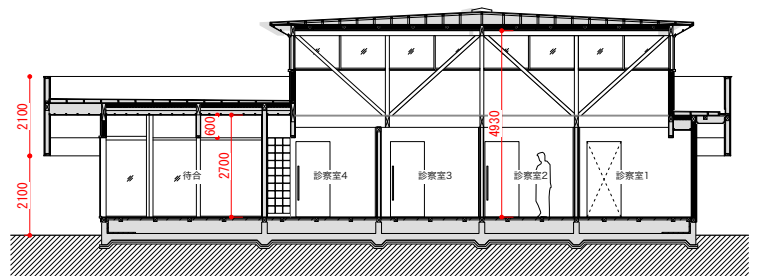
内部計画においては、客動線と裏側にスタッフ用の動線を設ける事でそれぞれが受診、執務に集中できる様に配慮した。それぞれの室のスケール感と緊張の緩和を両立するために、平面計画では効率的な動線計画としながらも、垂れ壁や吹抜け等の断面操作を行った。診察室は吹抜けとする事で開放感のある個室とし、待合いは垂れ壁によって落ち着いた部屋のような空間とした。

■2.5Mグリッドの架構

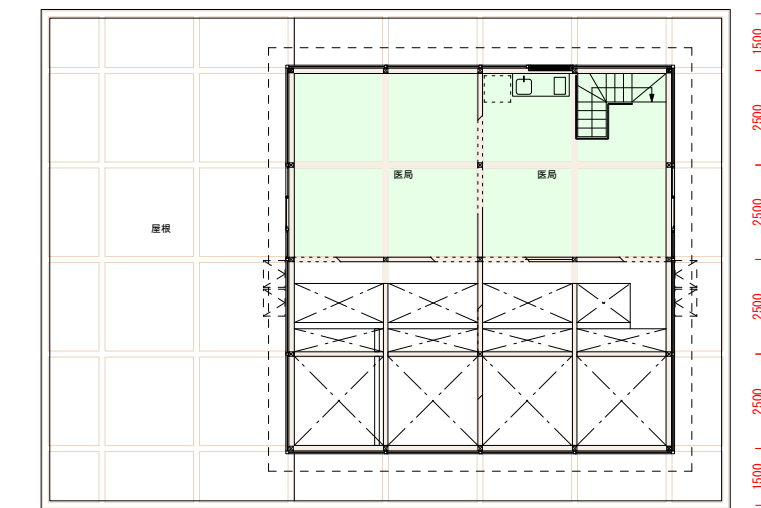
構造は、診察室・X線室・消毒コーナーなど小スケールの空間をまとめる事と、コストや仕上げとしての利用を考え2.5Mグリッドを基本とした木造を選択した。一定のスパンを採用する事で、小断面の梁で構成する事が可能で、軽やかな印象となる。待合においては梁に合わせて垂れ壁とすることで、適度に囲まれた落ち着きのあるスケールの空間をつくり出した。

■オリジナルの外装

海に近いこの地域では、雨水があたる外壁にはすぐに藻が生えてしまう。外周を取り巻く庇は、藻が生えにくく目立ちにくいギングロ色ガルバリウム鋼板の中波板を細長くカットして、下見板張り状に重ねていく事で表情を持たせた。凹凸のある波板は、光や見る角度で表情を変える。



断面図(1/200)



2階平面図(1/200)



■音環境の改善

それぞれの室におけるカウンセリング時の会話や治療音等の解消と、反響音を軽減する事で空間に広がりを持たせるために、吸音材を積極的に活用した。診察室の一面の壁には木質吸音パネルを利用し、待合を含む天井にはグラスウールと有孔ペニヤ合板を張る計画とした。

■サイン計画

車の往来が多いことを踏まえて交差点の角に来るサインとしてロゴを検討した。診療所の頭文字である「T」を重ねる事で歯の形が浮かび上がるようなデザインとし、これを建物の様々な場所に展開した。看板建築のような平面的な手法を避けて、町並みに奥行きを持たせ、サインと建物が調和する様に検討を進めた。

■照明計画

診察室や消毒コーナーなどの治療に関わる室は演色性の高い昼白色とし、それ以外の部分は落ち着いた印象となる電球色の照明を配置した。垂れ壁や吹抜けにはアッパーライトを設けて、間接光とすることで木質の肌理が優しい印象となる様に計画した。夜間は2階天井を照らすアッパーライトを常夜灯として、行灯の様に周囲を照らしている。